

事務事業チェックシート

事務事業No 690 事業名 和歌の浦アート・キューブ管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動の環境整備充実

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	和歌山市立和歌の浦アート・キューブ条例、和歌山市立和歌の浦アート・キューブ条例施行規則	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	宮田 真吾 (435-1194)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	和歌の浦アートキューブ費		
	大事業	和歌の浦アート・キューブ事業費		
	事項	和歌の浦アート・キューブ管理運営事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か) 和歌の浦アート・キューブを安全に利用できるよう維持管理する。	事業内容 和歌の浦アート・キューブを安全に利用できるための維持管理事業 ・平成15年1月開館 ・総工費 563,430千円 ・鉄筋コンクリート造 ・地上2階 ・多目的ホール(キューブA)、制作室(キューブB1・C1)、展示室(キューブD1)、音楽室(キューブB2)、練習室(キューブC2・D2)、その他				
	実施内容	平成26年度 管理事業 施設、附属設備の貸し出し 施設の維持管理 自主事業の実施	平成27年度 管理事業 施設、附属設備の貸し出し 施設の維持管理 自主事業の実施	平成28年度 管理事業 施設、附属設備の貸し出し 施設の維持管理 自主事業の実施	平成29年度 管理事業 施設、附属設備の貸し出し 施設の維持管理 自主事業の実施	平成30年度 管理事業 施設、附属設備の貸し出し 施設の維持管理 自主事業の実施

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	47,645	47,516	48,311	47,989	49,289	48,578	50,085		50,085	
伸び率 (%)	-	-	1.4%	1.0%	2.0%	1.2%	1.6%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	1,457	1,430	1,602	1,722	1,722	2,072	2,453		2,453
	正規職員以外									
小計	1,457	1,430	1,602	1,722	1,722	2,072	2,453		2,453	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	10,359	10,495	9,928	10,744	10,328	10,192	11,301		11,301	
一般財源 (税等)	37,286	37,021	38,383	37,245	38,961	38,386	38,784		38,784	
所要人数 (人)	正規職員	0.19	0.19	0.22	0.23	0.23	0.26	0.31		0.31
	正規職員以外									
主な予算内訳	管理運営委託料 48,954千円									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	自主事業開催数	回	目標値	10	10	10	10
			実績値	13	18	18	
			達成度 (%)	130.0%	180.0%	180.0%	
成果指標	施設利用者数	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
			実績値	50,553	47,080	38,869	
			達成度 (%)	101.1%	94.2%	77.7%	
成果指標	施設利用件数	件	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500
			実績値	4,332	2,819	2,867	
			達成度 (%)	123.8%	80.5%	81.9%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	個性的な建物であり、市民会館とは異なった性格の文化活動の拠点として利用されている。
見直し・改善内容	和歌の浦の景観を生かした自主事業の実施や地域住民に親しまれる施設の充実を図る。